

Care Show Japan 2026

産公民共創による未病対策 ～社会実装の壁を突破する企画共創の重要性～

神奈川県未病産業社会実装モデル事業運営事務局

令和7年度

未病産業社会実装モデル事業

事業の意義と流れ

県内自治体が**未病関連の製品・サービスに実際に触れ、将来の未病・フレイルへの有効かつ効率的な取り組みを検討する機会を提供**し、その**取り組みの実証を支援**します。
また有効事例は横展開し、**市町村と企業の連携を促進**することで、**健康寿命延伸と未病産業全体の活性化**への貢献を目指します。

地域課題のヒアリング
市町村・関連団体への聞き取り・調査

情報提供
課題に応じた製品・サービスリストの情報提供

企業とのマッチング
デモ実施
詳細情報の提供

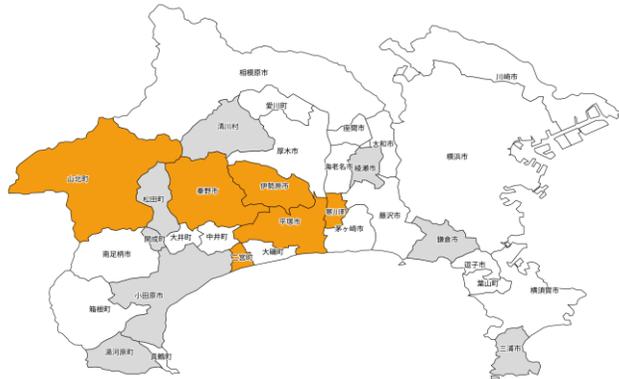
実証会
住民参加による実証
費用の積極的な補助

**振り返り会
有効性検討**
主催者との効果や課題を検討

R7活動実績

14ヶ所
ヒアリング

7ヶ所
実証



平塚市	秦野市	伊勢原市	二宮町
寒川町	山北町	※平塚市2ヶ所	
小田原市	鎌倉市	綾瀬市	三浦市
松田町	湯河原町	清川村	開成町

R7実証会概要

実証場所	実証内容	使用製品	参加者数
平塚市立崇善公民館	フレイル対策 (3回1セット)	オルフェアナリティクス、 ステイブル、パセーサ他	15名
平塚市立旭北公民館	フレイル対策	オルフェアナリティクス、 ステイブル、パセーサ他	28名
寒川町	健康血圧セミナー 2回	パセーサ、ベジチェック、 オルフェアナリティクス	1回目7名 2回目5名
	骨コツ教室	ステイブル	100名
伊勢原市	転倒対策、血管年齢 (企業)	ステイブル、パセーサ	32名
二宮町	介護予防レク	喉トレ健康かるた	10名
秦野市	介護予防レク	喉トレ健康かるた	23名
山北町	介護予防レク	喉トレ健康かるた	14名

使用製品・実証会の様子



血管年齢測定

PASESA(パセーサ)
株式会社志成データム



総合健康指標

未病指標®
神奈川県



血管年齢測定

StA²BLE®
(ステイブル)
UNTRACKED株式会社



介護予防レク

喉トレ健康かるた
一般社団法人 日本声ヨガ協会



StA²BLE®
ステイブル

ORPHE ANALYTICS MEDICAL
オルフェアナリティクス



歩容解析測定

**ORPHE ANALYTICS
MEDICAL**
(オルフェアナリティクスメディカル)
株式会社ORPHE



平塚市立崇善公民館 実証会



栄養状態測定

ベジチェック®
カゴメ株式会社



PASESA
パセーサ



喉トレ健康かるた

未病対策の重要性と「社会実装」の壁

QOLを守る未病対策

医療・介護負担の軽減だけでなく、地域住民の豊かな生活（QOL）を維持する喫緊のテーマ

未病対策に資する製品の重要性

未病やフレイルの対策・改善に資する製品・サービスの開発・活用・普及の重要性が高い

特有の産業構造

効果的な未病関連製品・サービスを地域住民に展開する際には、本事業のように、企業・自治体・住民が連携して関与する必要がある。その為、実装には、自治体の体制、予算編成、調整プロセス等を踏まえた対応が求められ、実装までに一定の時間や工夫を要する場合がある。

「実装」の壁

優れた製品・サービスを作っても、自治体や住民に届かない。「良い製品＝実装」とならない高い壁が存在。しかし実装すれば住民満足度は高い。

「良い製品」が住民に届かない。
「未病対策」を阻む実装の壁



QOLを守る未病対策

医療・介護負担の軽減と、住民の豊かな生活を維持するための喫緊のテーマ



有効な製品・サービスの存在

歩容解析や立位年齢測定など、未病・フレイルの予防・改善に資する優れた技術が開発されている。

「実装」を阻む高い壁

企業・自治体・住民が関わる
特有の構造



自治体のリソース
(ヒト・カネ・ジカン・情報) 不足



住民の満足度は95.4%



実証会では参加者の95.4%が「とても良かった・良かった」と回答。現場のニーズは非常に高い。

※各実証会のアンケート結果の平均値

実装の壁を越える
にはどうしたら…



社会実装の壁を越える「企画共創の3層構造」と「実装支援の4要素」



【第1層：住民・自治体】行動変容の動機づけ

- ・ **ミッション**：住民自らが健康づくりを「**続けたい**」と思えるきっかけ（**成功体験**）を創出する
- ・ **役割**：地域のリアルな課題を抽出し、解決すると共に、住民が安心して参加し、**ワクワクできる継続的な場**を提供する



【第2層：事務局（運営支援）】設計と具体化

- ・ **ミッション**：**未病関連製品・サービス**を活用し、「**見える化→体験→継続**」という**体験フロー**を創出する
- ・ **役割**：継続性を重視した「**ビフォー→フォロー→アフター**」の**3回構成プログラム**を設計・運営し、**階層を繋ぐハブ**となる



【第3層：企業】開発と専門的助言

- ・ **ミッション**：現場のニーズを製品開発に活かし、**専門的知見で企画全体を下支え**する
- ・ **役割**：単なる機器やサービス提供に留まらず、測定結果に基づく**具体的な行動（運動など）に結びつける仕組み**を用意するなど、**使用者の「次の一歩」**を後押しする

企業が備えるべき「実装支援の4要素」



可視化機能：現状や努力の成果をグラフなどで**誰でもわかりやすく**伝え、モチベーションを高める



データ蓄積機能：**個人の変化**を追跡し、**自治体全体の健康施策の最適化**にも貢献する



アドバイス機能：測定データに基づき「**次に何をすべきか**」を具体的に提案する



価格戦略：行政の予算感を踏まえた、**持続可能な価格設定**を実現する

平塚市立崇善公民館「足元から世界を変える！」シニア学級

事業の背景と目的

地域の公民館がフレイル対策と社会参加の拠点に

崇善公民館の社会教育事業「シニア学級」として、神奈川県未病産業社会実装モデル事業を活用し、高齢者の健康課題に取り組んだ。

3回連続講座へプログラムを強化

前年度の測定メインの単日開催から、運動等の定着・継続を目指し、測定会の際に運動指導をメインとしたフォロー会を挟む3日間プログラムへ強化

転倒不安のある60歳以上が対象

自立歩行は可能だが、転倒への不安を持つ高齢者を対象とし、活動に対する継続意欲がある方などペルソナを具体化し募集。

【第1回】測定会①現状把握と動機づけ (10月16日)



- ・歩容解析(ORPHE)や立位年齢測定(StA²BLE)で自身の歩き方や転倒リスクを客観的に把握
- ・専門家による正しい姿勢や歩き方の講話と実技で、改善への意識を高めた。
- ・参加者**16名**

【第2回】フォロー会 運動の習慣化 (11月14日)

高い継続率を達成！



- ・測定会①で学んだ内容を復習し、バランスや歩行能力向上に資するストレッチや機能改善エクササイズを実践。
- ・正しい姿勢や歩き方の定着を促し、参加者同士の交流も見られた
- ・参加者**16名**

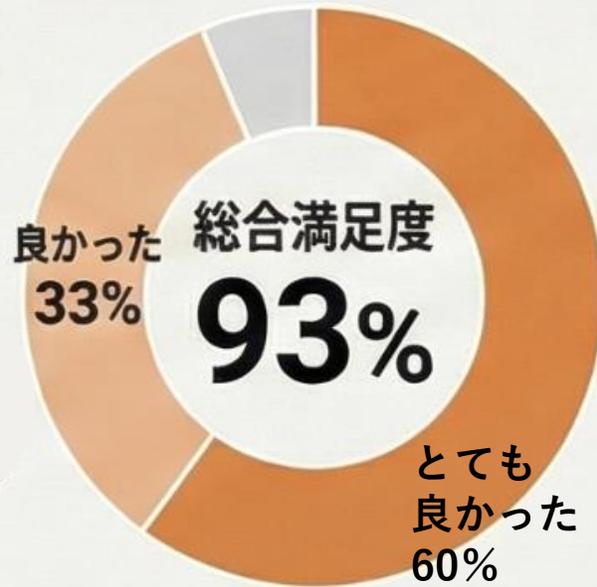
【第3回】測定会② 変化確認と今後の目標 (12月12日)



- ・再測定で身体の変化を確認し、結果に基づいた個別アドバイスを実施。
- ・さらに「100年動く身体」をテーマにした講話で、今後の健康づくりへの意欲を引き出した。
- ・参加者**15名**

平塚市立崇善公民館「足元から世界を変える」シニア学級

参加者アンケート結果 (n=15)



3日間のプログラム全体に対し、60%が「とても良かった」、33%が「良かった」と回答し、参加者から非常に高い評価を得た。

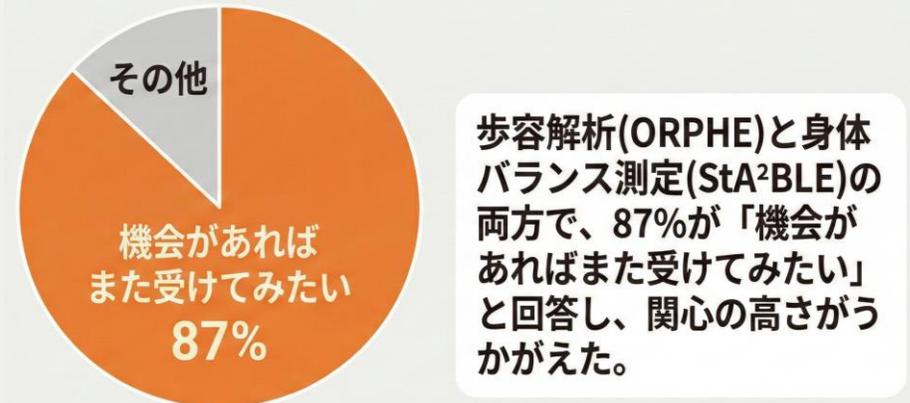
参加者の声

「自分の身体や歩き方のクセに気づけた」
「歩き方が科学的に実証されてよく分かった」
「歩き方を見直す良い機会になった」

歩き方講座 満足度

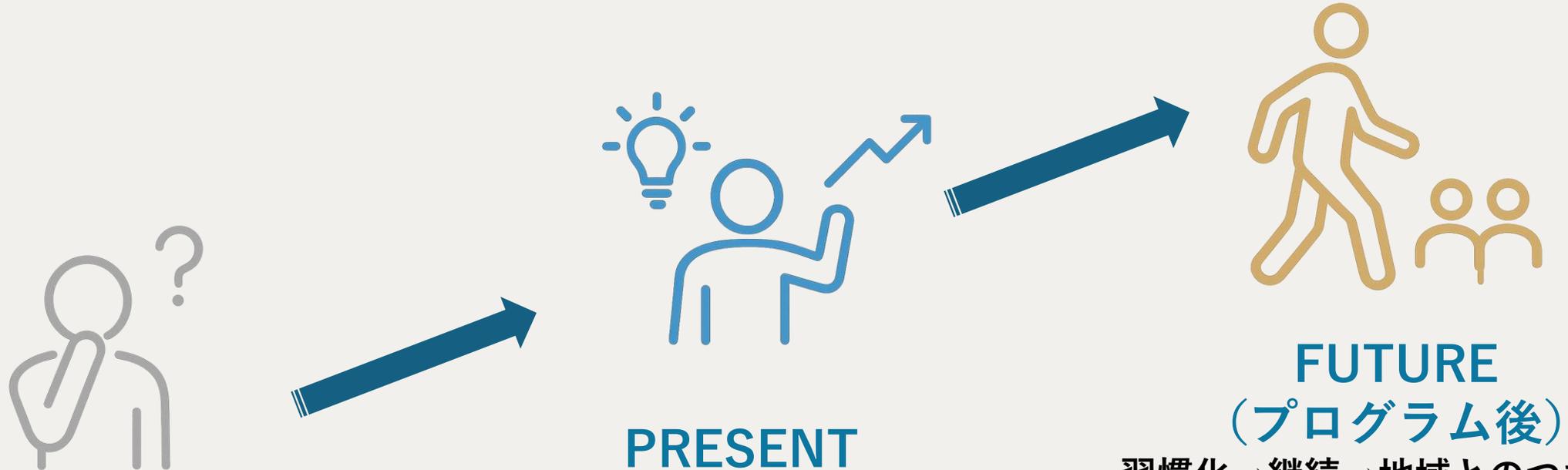


機器測定の再体験希望



「体験シナリオ」の企画共創が繋ぐ 住民の「過去・現在・未来」

今回の崇善公民館のプログラムは、さまざまな専門家が、参加者（住民）の時間軸に寄り添いながら、健康をデザインする「体験シナリオ」を企画共創し、人生の物語をより豊かにするための「きっかけ」と「継続」を創る実証でした



PAST (参加前)

漠然とした不安・自己流の健康法
加齢による身体の変化への不安を抱えつつも、何をすれば良いか分からない状態

PRESENT (プログラム体験)

見える化→気づき→学び→成功体験
客観的なデータで現在を知り、専門家の助言で正しい方法を学び、自身の変化を実感することで「やればできる」という自信を得る

FUTURE (プログラム後)

習慣化→継続→地域とのつながり
専門家から得た知識と成功体験から得た自信を元に、健康づくりが生活の一部となる未来へ。地域コミュニティとのつながりが、その継続を支える

インタビュー

【登壇者】

平塚市立崇善公民館 主査 松本 歩様

平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき 保健師 相原 陽子様

(株)神奈中スポーツデザイン スポーツ事業部課長 小野寺 茂信様

【内容】

- ・ ミッション
- ・ 現場の課題
- ・ 実証の感想と今後の課題
- ・ 企画の意義
- ・ 現場からのメッセージ

皆様へ

現在のお仕事の**ミッション**や**想**いを教えてください。

平塚市立崇善公民館

平塚市役所 社会教育部 中央公民館

崇善公民館 主査 松本 歩

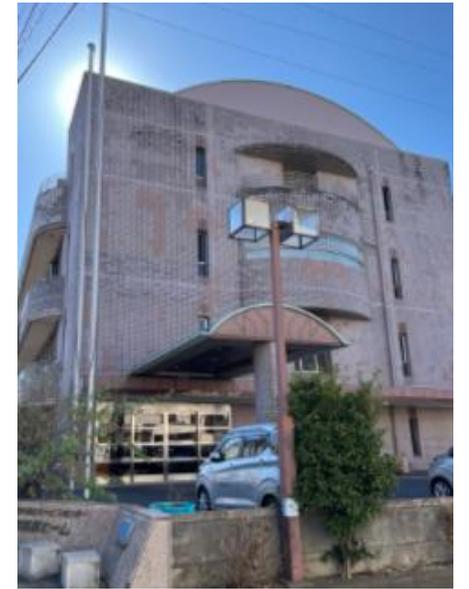


公民館主事として、地域の方と一緒に
様々な社会教育事業を実施しています

崇善公民館は、地域課題解決のための活
動拠点としてのほか、地域の方々の
レクリエーションの場として日々多くの
方に利用されています



平塚市高齢者よろず相談センター (地域包括支援センター) ゆりのき



保健師 相原陽子

平塚市から委託された公的相談窓口として、
平塚市崇善地区・松原地区を担当しています。

担当地区の介護予防ケアマネジメントと共に地域団体・機関等と
連携し、地域課題の解決に向けた取り組み、フレイル・認知症予防
活動に取り組んでいます。

専門職が対応しています。

- ・社会福祉士
- ・主任介護支援専門員
- ・認知症地域支援推進員
- ・保健師
- ・介護支援専門員 等

健康サポート事業



企業を支える従業員の健康保持・増進プログラムを開発・指導しています。企業を健康的に経営していくために、従業員のヘルスリテラシー向上や日々の健康づくりへの取り組みが実践できるよう事前にリサーチし、集団での健康セミナー（講座形式）や個別指導など最適な内容で提供しています。

【撮影協力】 神奈川中央交通株式会社「健康経営における健康サポートプログラム」

株式会社神奈中スポーツデザイン
スポーツ事業部ウエルネス担当
【資格】
健康経営エキスパートアドバイザー
健康運動指導士
介護予防運動指導員
整体師
ビジョントレーニング指導者1級

介護予防事業



元気高齢者や要支援者など様々な体力レベルに合わせてプログラムを提供し、自立した生活を送ることができる身体づくりを目指した指導をしています。寝たきりの原因となる関節疾患予防・軽減を目的とした個別の姿勢の姿勢改善ストレッチや筋力アップエクササイズなど、個々の状況に合わせて指導しています。

指導者育成

指導者の育成や指導のスキル向上を目的とした指導をしています。身体の基本となる【姿勢】づくりのプログラムを通してクライアントに有益な指導ができる技術を提供しています。

スポーツトレーナー

フィジカル&コンディショニングトレーニングを指導しています。

《実績》

2020年東京パラリンピック
卓球知的障害クラス女子シングルス
銅メダリスト

2002年釜山アジア競技大会
男子ビーチバレー 金メダリスト

崇善公民館 松本様へ

公民館で日頃から

高齢者の健康や社会参加に関わる中で、

今回の実証に繋がった**“現場の課題感”**は

どのようなものでしょうか？

崇善公民館 松本様へ

単なる測定会ではなく、

「シニア学級 足元は世界を変える！」

という全3回プログラムを企画されました。

この実証を通して、何を実現したかったかを教えてください。
ください。

崇善公民館 松本様へ

参加者の満足度 93%

やってみた手応えはどうでしたか？

平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき
相原様へ

日頃から住民の不安や困りごとを一番近くで受け止める立場の視点から、

今回の実証は住民にとって

どのような意味があったと感じましたか？

平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき
相原様へ

今回のように、測定、運動、フォローが組み合わ
さった取組は、

日頃の相談支援や介護予防の仕事に、

どのように活かせそうだと感じましたか？

(株) 神奈中スポーツデザイン
小野寺様へ

日頃からフレイル対策や運動指導の事業に携わっている中で、

今回の実証は普段の事業と比べて、
どのような違いがありましたか？

(株) 神奈中スポーツデザイン
小野寺様へ

歩容解析や立位年齢測定などの
最新機器を使用する専門家の立場から、
こうした未病産業の製品が、現場で
より活用できる条件は何だと思えますか？

皆様へ

会場にいらしている未病産業にかかわる、
または今後かかわっていかようとしている

企業の皆様へメッセージ

をお願いします。

社会実装の壁を突破するには「体験シナリオ」の企画共創が鍵

(発見・楽しさ・仲間)

住民の

「ワクワク」

継続的な場

体験
シナリオ

企業の

製品・

サービス

自治体の

ミッション

(可視化・専門的知見)

(健康寿命延伸・介護予防)

平塚市立崇善公民館の事例が示すように、社会実装の壁を突破する力は、一つの優れた技術やサービスにあるわけではありません。多様な「人」がつながり、住民の体験を軸とした「体験シナリオ」を企画共創する、そのプロセスの中にこそあります。

1. 「点」を「線」へと紡ぐ

散らばる点（資源：ヒト・モノ・情報）を、参加者の体験という一本の「線」で繋ぎ合わせ、価値を再構築する

2. 「人」が共創の主役

企画段階から多様なステークホルダーが当事者として参画し、それぞれの専門性を掛け合わせることで、一人では生み出せない価値を創る

3. 「体験シナリオ」のデザイン

一過性のイベントではなく、住民の過去・現在・未来をつなぎ、行動変容と継続を促す「体験シナリオ」をデザインし、「場」と「きっかけ」を創る

「選ばれ続ける」製品・サービスであるために

企業が備えるべき「実装支援の4要素」

-  **可視化機能**：現状や努力の成果をグラフなどで**誰でもわかりやすく**伝え、モチベーションを高める
-  **データ蓄積機能**：**個人の変化**を追跡し、**自治体全体の健康施策の最適化**にも貢献する
-  **アドバイス機能**：測定データに基づき「**次に何をすべきか**」を具体的に提案する
-  **価格戦略**：行政の予算感を踏まえた、**持続可能な価格設定**を実現する

未病対策の現場が本当に必要としているのは、
住民の行動変容までのシナリオを、
現場で一緒に企画共創すること